

あなたと議会



2013
179号
8月26日発行

速報!!議会報告会・意見交換会
市政を問う
議会からあなたへ



「ひと休み」(撮影場所:福島県大沼郡金山町、撮影者:芳田利雄議員)

速報!!

議会報告会

意見交換会

特集

平成25年度 8地区で開催しました。



開かれた議会を目標して始まった議会報告会・意見交換会は、今年度は8地区で215名の参加をいただき議会活動を報告するとともに貴重な意見をいただきました。

議会報告会・意見交換会では、議会の主な活動等を説明、報告するとともに、参加者からの「ご意見・ご質問」にお答えしました。

会場では活発なやりとりが繰り広げられましたが、ここでは議会に関することを抜粋してご紹介します。

条例制定に向けた活動について

質問 本日の報告会で「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」を知りました。このような健康づくりや年配者が転ばない等、より安全なまちをつくるための施策が必要ではないでしょうか。

「鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例」は市民が健康で元気に暮らせるように今年の3月議会で議員の提案により成立したものです。施策実現の第一歩として、基本計画策定委員会が設置され、本年度中に来年度どのような施策を行うかが決まる予定です。健康づくりと同様に、年配者が転ばないまちづくりはまさに予防対策です。予防対策をきちんとやれば災害等も最小限に留めることができます。市に対して積極的にアピールしていきたいと思えます。



女性・若年層へのとりくみ

質問 昨年度の報告会、本日の参加状況を見ると男性が圧倒的に多く、女性や若者の参加が少ないと感じました。このような状況をどう考えますか。

議会としても、男性、女性、様々な年代、職業の方から意見を聞きたいと思っています。開催時間や周知方法についてはこれからも引き続き検討していきたいと思えます。

質問 県内の他市町で模擬議会が開催されたと聞きました。鹿沼市では開催されないのでしょうか。

8月21日に市内各中学校から2、3名の生徒が議員となるシミュレーション議会を開催します。生徒たちが通常の市議会としてできるだけ同じ体験ができるように実施する予定です。中学生として市に対して抱いている意見、環境問題、教育問題などを率直に質問してもらいます。答弁は市議会と同様、市の執行部が行います。市政に対する関心を子供のうちから持つことにより、若い人の政治に対する無関心、選挙の投票率低下等に歯止めをかけるきっかけになればと考えます。

議員定数について

質問 現在の議員定数は多いのではと感じます。議員定数に対する議会の考えを聞きたいです。

議員定数については、前回の改選時に2名減の26名になりました。議員定数、議員報酬、政務調査費については議会改革調査特別委員会への付託事項として検討しましたが、今後も十分に時間をかけ検討を加えていきたいと考えます。一方で、「より開かれた議会」「行動する議会」を目指し皆さんとともに活動していきたいと願っています。活発な議会活動を期待してもらえよう努力していきたいと考えます。



参加者の声

皆様から頂いたご意見の一部を紹介します。

多種多様な意見がきけるようテーマ等は特に設けないほうがよい。もっと自由に討論できるとよい。

報告内容を議員から直接説明してもらおうことで、より理解が深まりました。

知ってもらふことにより市民からの協力も得やすくなると思うのでまた開催してほしい。

議会が市民の生の声をきくよい機会だと思った。

配布資料が分かりづらかった。もう少し工夫が必要では。

女性やサラリーマンで忙しくて参加できない人も多い。参加しやすい時間帯を検討してほしい。

地元の皆さんの意見を聞くことができ良かった。



地区別参加者数

期 日	地区	参加者数	男性	女性
7月 2日 (火)	粟 野	19	18	1
7月 4日 (木)	東部台	36	30	6
7月 8日 (月)	東大芦	23	22	1
	板 荷	22	21	1
7月 9日 (火)	北 部	29	24	5
7月16日 (火)	西大芦	29	28	1
	粕 尾	17	16	1
7月25日 (木)	北押原	40	35	5
合 計		215	194	21

市政を問う



風疹大流行に対する市の対応は

6月定例会で16人が登壇
鹿沼市政について質問をしました



質問

早急に適切な対応をすべきと考える。予防接種対策、接種促進のための一部公費助成についての市の所見を伺う。

答弁

風疹ワクチンの予防接種に助成を行います

風疹は全国で6月2日現在9千408件の発生報告があり、平成20年以降最も早いペースで増えています。患者の7割以上は男性で、うち20代から40代が8割を占めています。理由は昭和54年4月2日から平成7年4月1日生まれの男性は、風疹の定期

接種が実施されていなかったり、集団接種で個別接種に変わったことなどで接種率が低いこと、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子供のころ定期接種の機会がなかったことが原因と考えられます。

市では、風疹ワクチンの予防接種に対する助成の準備を進めています。対象者は19歳以上の鹿沼市民で、妊娠を予定、または希望している49歳以下の女性とその配偶者、または妊娠している女性の配偶者を予定しています。広報かぬま6月25日号など様々な媒体を通して広く市民に周知を図っていきたく考えます。

風疹とは

ウイルス感染症の一種で、風疹ウイルスによる急性熱性発疹性疾患。一般に三日はしかとして知られている。感染症法に基づく五類感染症に指定して届け出の対象としている。伝染力は水痘(水疱瘡)、麻疹(はしか)より弱い。妊娠初期に妊婦が感染した場合の先天性風疹症候群が大きな問題となっている。効果的な治療法は無く、ワクチンによる予防が最も重要である。



大貫 武男 議員

医療費の削減について伺う



質問
国民健康保険における医療費削減の取り組みについて伺う。

答 弁
特定健康診査の受診が医療費削減に効果的です。

平成20年に特定健康診査・特定保健指導を開始してから高血圧性疾患・糖尿病・虚血性心疾患の医療費の伸びは全体の伸び率12.4%より低く抑えられており、その効果が表れているものと考えます。

特定健康診査の受診者と未受診者を比較すると、受診者の平均医療費が未受診者より低く抑

えられる傾向にあり、特定健康診査は医療費の削減効果があると考えられます。しかし、対象者が忙しい、健康であるなどの理由から、最近受診率・指導率ともに伸び率が低下傾向にあります。受診率を向上させるため、受診期間を延長し機会の拡大に努めるほか、未受診者には従来の個別通知に加え電話による勧奨を行ってまいります。

なお、他の医療費削減の取り組みとしては、ジェネリック医薬品差額通知の発送に向け、現在協議を進めております。

特定健康診査・特定保健指導とは

特定健康診査とは
生活習慣病の原因の一つであるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診。医療保険に加入している40歳~74歳のすべての人が対象です。

特定保健指導とは
特定健康診査の結果から生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に「動機づけ支援」「積極的支援」を実施します。



横尾 武男 議員

通学路、歩道整備事業について伺う



質問
通勤通学の危険箇所である塩山地区大師ヶ窪付近の道路整備状況を伺う。

答 弁
早期に工事着手できるように県への働きかけをしていきます。

主要地方道鹿沼足尾線の塩山地区の歩道整備事業は、栃木県が事業主体となり、小藪川から赤石橋方面に向かい延長約850メートル区間を整備します。道路両側に3メートルの歩道を有する幅員14メートルで整備する計画です。

地元権利者を初め、塩山地区

道路拡幅促進期成同盟会や鹿沼土木事務所の長年の努力により平成24年8月の説明会で地元の同意を得て、9月から用地測量に着手しました。

平成25年度は、建物の調査が終わり次第、個別権利者との用地交渉に入りたいとのことですが、鹿沼市としてもできるだけ早期に工事着手ができるよう、地元の方のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、引き続き栃木県への要請を行ってまいります。



だいしゃくぼ
▲塩山地区大師ヶ窪付近

子育て支援の充実について伺う



質問

子育て支援の充実について伺う
①コミュニティセンター単位で子育て支援の場を作る考えはなにか。

②「ゆーとりん」のような子育て支援施設を展開する考えは
③教育委員会と保健福祉部の相互連携

答 弁

地域子育て支援事業の充実を図ります

①現在実施しているスマイルクラブ、子育てサロンを一層推進させ、指導者やボランティアの養成、各地区の団体と協力連携を図りながら、導入に向けた検討

をしていきたいと考えます。

②「ゆーとりん」のような子育て支援施設として、現在整備している（仮称）北部拠点保育園に地域子育て支援センターを併設する予定なのでこの施設を活用していただきたい。

③子育て支援施策の充実を図るため「鹿沼市次世代育成支援対策推進行動計画」を策定し、子育て環境の整備や経済的サポートの充実など、全庁的な連携を図っています。今後も引き続き、各地域の自治会や民生委員、児童委員などの協力のもと、地域子育て支援事業の充実を図っていききたいと考えます。



ゆーとりんの利用実績

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
延べ利用者数	5,611人	7,924人	6,744人
1日当たりの平均利用者数	35人	32人	28人
1日当たりの平均利用組数	15組	14組	12組

鹿沼市職員給与の減額について伺う



質問

東日本大震災の復興財源を補うため市民みんなで痛みを分かち合うため議員の政務調査費33万6千円支給廃止、報酬2割削減が必要と考える。鹿沼市職員給与の減額について詳細を伺う。

答 弁

給与の減額を実施します

平成25年1月24日に「地方公務員の給与決定に関する取扱いについて」が閣議決定され、職員給与の減額を国に準じて実施するように総務大臣名で要請がありました。

理由は東日本大震災を契機と

した防災・減災事業への取り組みや、長引く景気低迷からの脱却と、一層の経済活性化を図ることなどの課題に対応するためといわれています。

市職員の給与については、国からの要請のほか、地方交付税法が3月に改正され、本年度の交付税減額が想定される中、7月から来年3月までの減額を考えています。給与減額により縮減したラスパイレース指数から算定した削減総額は、約2億3千600万円となり交付税減額による市民生活への影響も抑えられますものと考えます。

給与削減率

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
4.70%	4.75%	6.25% ※4.77%	6.75%	7.50%	7.75%	9.50%	9.75%

※技能労務職給料表3級の削減率

削減対象者

一般職員（技能労務職含む）

同時に削減する手当て及び削減率
管理職手当5%

削減期間

平成25年7月～平成26年3月



教育行政(奨学金貸付制度)について伺う



平成24年度の奨学金貸付実績は、継続貸付者184名、新規貸付者100名の計284名に対し、合計1億2千819万円の貸付を行いました。回収状況については平成24年度は予定金額5千408万1千700円に対し、回収額は5千278万2千

200円で、回収率は97%でした。奨学金貸付申請の応募資格は、原則「連帯保証人として保護者から一人、及び鹿沼市に住所を有し確実な保証のできる者一人をつけることができる者」と規定しています。しかし、保護者以外に市内在住の連帯保証人が見つからない場合は、申請者との話し合いで、市外在住の連帯保証人も認めるなど、柔軟に対応しています。平成25年度の新規貸付者74名の連帯保証人のうち市外在住者は11名です。

今後、奨学金募集要項をよりわかりやすい表記となるよう検討してまいります。

質 問
鹿沼市の奨学金貸付制度の利用、回収状況をしめせ。
また、制度を利用する際必要な鹿沼市在住の連帯保証人が見つからない場合の対応を示せ。

質 問
鹿沼市では以前から園芸用土等の土採取が盛んに行われ、鹿沼土は全国的に広く流通しています。しかし近隣住民からは、災害等の発生や生活環境への影響に関する不安の声が寄せられています。この条例の施行により安心・安全な生活環境と清らかな水と豊かな緑に恵まれた自然環境を

鹿沼市の奨学金貸付制度

貸付月額
大 学 等…月額40,000円以内
高等学校等…月額15,000円以内

対象となる学校
大 学 等…大学、短期大学、専修学校の専門課程
高等学校等…高等学校、高等専門学校、専修学校の高等課程、中等教育学校の後期課程

※専修学校については経営組織が学校法人であること



鹿沼市土採取事業規制条例について伺う



鹿沼市では以前から園芸用土等の土採取が盛んに行われ、鹿沼土は全国的に広く流通しています。しかし近隣住民からは、災害等の発生や生活環境への影響に関する不安の声が寄せられています。この条例の施行により安心・安全な生活環境と清らかな水と豊かな緑に恵まれた自然環境を

質 問
鹿沼市土採取事業規制条例制定に対する市の抱負を伺う。

質 問
鹿沼市では以前から園芸用土等の土採取が盛んに行われ、鹿沼土は全国的に広く流通しています。しかし近隣住民からは、災害等の発生や生活環境への影響に関する不安の声が寄せられています。この条例の施行により安心・安全な生活環境と清らかな水と豊かな緑に恵まれた自然環境を

質 問
鹿沼市土採取事業規制条例制定に対する市の抱負を伺う。

質 問
鹿沼市では以前から園芸用土等の土採取が盛んに行われ、鹿沼土は全国的に広く流通しています。しかし近隣住民からは、災害等の発生や生活環境への影響に関する不安の声が寄せられています。この条例の施行により安心・安全な生活環境と清らかな水と豊かな緑に恵まれた自然環境を



▲清らかな水と豊かな緑に恵まれた自然環境を次世代に継承します。

小林 充 議員

大島 久幸 議員

小中学校の適正規模と
適正配置について伺う



生活保護法改正の影響を伺う

質問

学校間の格差の解消について具体的な対策を伺う。

質問

大規模、小規模校それぞれにメリット、デメリットがあります

鹿沼市は広大な面積の中に37の小中学校があり、規模と配置は様々です。地域の実態や教育の充実という観点から判断すると、鹿沼市の適正規模は小学校6～18学級、中学校は3～18学級と考えます。

規模の対策としての通学区の見直しは、鹿沼市小中学校通学区審議会において審議し、慎重

質問

生活保護法改正の影響、制度に対する市の基本的な考え方を伺う。

質問

適正かつ的確な運用、丁寧な対応に努めます

生活保護制度は、生活に困窮する全ての市民に対し、困窮の程度に応じ必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的としています。適正な制度運用のため、訪問調査や収入認定、扶養義務者の把握及び義務履行の指導を行い、他の法律や社会保障制度の活用、調査、指導に

重に検討していきたいと考えます。

教員の配置については厳しい財政のなか59名の非常勤講師を確保し、多人数学級や複式学級など学校の実情に合わせ適切に配置しています。

学校の統廃合については鹿沼市教育ビジョンで学校は地域の人づくりの拠点として存在し、子供たちは地域の中で育ち成長していくという構想のもと「沢の文化」を推進しているところです。地域が存在する限り地域の学校で地域の子供たちを育てるという考え方に基づき、方策を検討していくべきと考えます。

努めています。自立助長の観点から、ケースごとに生活実態や状況変化に応じた援助方針を定め指導援助を行い、就労可能と判断する被保護者については鹿沼公共職業安定所と連携し積極的な就労支援を行っています。

被保護者の87%が高齢者、障害者、傷病者、母子の世帯で心と体の両面からの支援が必要な方が多いことと、医療費の適正化、相談支援のため本年度から保健師を一名配置しました。

法改正後も、個別の状況を調査し、制度の理解を十分に求めながら的確で丁寧な対応を心がけていきます。



▲鹿沼市には、37の様々な規模の小中学校があります。



鹿沼市の生活保護受給世帯数、受給額の推移

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
平均世帯数	541世帯	557世帯	560世帯
平均人員数	688人	701人	705人
扶助費総額	12億3,368万3,271円	11億6,763万1,169円	11億2,847万5,254円

学校給食の食物アレルギー対策
について伺う



問 学校給食における食物アレルギー対策の課題と今後の取り組みについて伺う。

答 除去食や代替食の提供ができていない鹿沼市学校給食共同調理場の整備計画を示せ。

問 対応マニュアルの改訂と施設整備等の改善を図ります。

答 対策の課題としては、食物アレルギーに関する正しい知識や対応について全職員への周知徹底や共通理解をなお一層図ること、食物アレルギーの児童生徒に除去食や代替食が提供できない

要です。平成24年度には国の交付金事業により地域ぐるみで行うワイヤーメッシュなど防護柵の設置、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した里山林整備事業を各地域で実施しました。

地域に対する専門的な指導としては、栃木県や宇都宮大学と連携し電気柵の設置実習などを行っています。今年度も講習会や里山野生鳥獣管理技術者養成プログラム事業を実施する予定です。

平成24年度からは市内企業と自治会等が防護柵設置の作業を行う「企業等中山間集落支援モデル事業」を実施し成果を上げています。



▲鹿沼市学校給食共同調理場の整備計画を作成します。

野生鳥獣被害対策について伺う



問 野生鳥獣による農業被害は平成22年度以降増加傾向にあり、中山間地域を中心に農産物被害は深刻で、農業者の経営意欲を低下させ耕作放棄地増加の一因となっています。

答 獣害対策の成果を上げるには、地域全体での取り組みが重要で

今後の取り組みとしては、関係職員との協議のもと鹿沼市の学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂を進め、あわせて施設整備等についても改善を図ってまいります。

鹿沼市学校給食共同調理場は、現在の施設の中でどのような改善が図れるか関係者と協議を行いながら整備計画を作成中です。今年度10月中くらいまでに整備計画を作成し、来年度の予算に反映していきたいと考えています。



▲ワイヤーメッシュ防護柵

赤坂日出男 議員

小島 実 議員

大雨による
洪水対策について伺う

国民健康保険事業について伺う



質問

大雨による洪水対策について市の取り組みを伺う。

- ① 水防対策の強化について
- ② 避難対策について

答弁

関係機関との連携と地域の助け合いが重要です

①について、鹿沼市では毎年必要な水防体制、活動方法を定めた水防計画書を策定し、関係機関と連携した円滑な水防活動の実施に努めています。

毎年6月に消防職員、消防団員、水防協力団体を対象に積み土の工法や木流し工法等の水

防工法訓練を実施、消防本部では救命ボートや救命索発射銃を使った水難救助訓練を毎年2回実施しています。

②について、現在鹿沼市には39か所の避難所がありますが、新たに鹿沼市地域防災計画に中間的な避難所である「自治会避難場所」を位置づけました。災害発生時は、まずは一人一人が自身の安全を守り、隣近所の助け合いで救助や避難をすることが重要です。段階に応じた避難体制をとることで、住民の的確な避難を確保し、孤立化も防げるものと考えます。

質問

国民健康保険制度が抱える根本的な課題について、また国民健康保険財政の安定化、負担の格差是正を図るため広域化の検討、実現への課題を伺う。

答弁

国民健康保険の保険者の都道府県化について要望書を提出しました

国民健康保険は、国民皆保険制度のもと、地域住民の健康保持、増進に大きく貢献して参りました。しかし被保険者の年齢構成が高く一人当たりの医療費が高いこと、無所得者世帯割合の増加、保険税の収率率低下、

税率の市町村格差など多くの問題を抱えています。

広域化については社会保障制度改革国民会議において国民健康保険の保険者を都道府県に移行させる方向で検討が進められています。鹿沼市は平成24年度に全国市長会を通して国に対し保険財政の安定化、市町村間の保険料負担の公平化の観点から国民健康保険の都道府県化について要望書を提出しました。国の議論の結果、制度の構造的課題の解消に向け、医療保険制度の最後のセーフティネットとして国民健康保険制度が確立されることを期待しております。

国民健康保険制度とは

日本では、いざという時に安心して医療をうけられるよう、すべての人がいざつかの医療制度に加入することになっています。(国民皆保険制度)国民健康保険も医療保険のひとつで市町村ごとに運営され職場の健康保険などに加入していない人に医療を保障しています。

また、国民健康保険は、万一病気やケガをしてしまった時、安心して医療が受けられるよう、皆で保険料(税)を出しあって助け合う制度です。国民健康保険は加入者が納める保険料(税)や国や地方自治体からの負担金によって事業を運営しています。

鹿沼市に住んでいる人で次に該当する人が加入者になります。

- 1. 自営業者 2. 年金受給者 3. 農業・林業・漁業などの従事者 4. 退職して職場の健康保険に加入していない人 5. 外国人登録を行って日本に1年以上滞在する人

鹿沼市地域防災計画



鹿沼市と栗野町との合併により災害環境が大きく変化したこと、近年の大きな災害において多くの課題が見られたため「防災アセスメント調査」を実施し地域防災計画の全面見直しをしました。地域防災計画は災害対策基本法第42条の規定に基づき、鹿沼市防災会議が作成し、同会議において平成25年3月に計画が決定されました。

※詳細は鹿沼市ホームページをご覧ください。

▲様々な水防工法訓練を実施しています。

芳田 利雄 議員

市長の政治姿勢について伺う



憲法第96条は、改憲手続きに関する規定であり、衆参両院の総議員の3分の2以上の賛成で、国会が発議し、承認には国民投票において過半数の賛成を必要

答 弁
憲法96条を先行して改正することには反対です

質問
憲法96条改正は9条改憲につながる危険な動きと考える。市長の見解を示せ。

現在、改正しようとする内容が明らかにされないまま改正の手続き部分である第96条を先行して、国会による憲法改正の発議要件を現行の両院3分の2以上から過半数に緩和しようという動きが報道されていますが、まさに本末転倒なやり方の印象はぬぐえず、危惧を感じている一人であり、憲法第96条を先行して改正することについては反対と言わざるを得ません。



▲憲法第96条は改憲手続きに関する規定です。

小松 英夫 議員

JR鹿沼駅東都市計画道路について伺う



質問
主要地方道宇都宮鹿沼線の整備に伴う市道、JR鹿沼駅東口の整備について伺う。

答 弁
鹿沼駅裏通りの整備計画を作成し事業化を図ります

事業中で、本年度は建物等の移転が完了次第、工事を実施いたします。供用開始は、通行の安全を考慮し、古峯原宮通りの完成にあわせる予定です。

今後は、来年度から地元関係者との合意形成を図りながら駅東の広場と鹿沼駅東通りを結ぶ区間530メートルについて、駅前広場を含む鹿沼駅裏通りの整備計画を作成し事業化を図っていく予定です。

JR鹿沼駅東口については、今後、東西自由通路を駅前広場の計画の中で駅利用者の利便性を考慮しながら、東口改札の設置も含め検討してまいります。

都市計画道路(街路)とは

都市計画道路とは都市計画法で定められる基幹的な都市施設(道路・公園・下水道等)の一つで、広域的な交通処理機能や市街地内の空間形成等に配慮して配置されています。長期的な整備計画を円滑かつ着実に実施するため、将来の道路整備に必要な区域をあらかじめ明確化して当該予定区域の土地利用の一定の制限を課している道路です。

大きく分けて次のような機能があります。

- 人や物を運ぶ交通機能
- 災害時の避難、救助物資の輸送など防災機能
- 都市の骨格を形成し、土地利用の高度化を促す等、市街地誘導機能
- 上下水道、電力、電話などライフラインを収容する空間機能
- 通風・採光などの都市空間を提供し、都市景観を形成する機能

特別委員会報告

報告書の全文は鹿沼市のホームページをご覧ください。

安全安心なまちづくり調査特別委員会

平成25年6月5日、安全安心なまちづくり調査特別委員会から議長に報告書を提出しました。「防犯・防災における市民との協働について」「災害における市民との協働について」「危機管理体制の構築について」調査研究を重ね4つの提言をいたしました。

- 提言1 「公共施設への防犯カメラの設置促進」
- 提言2 「交通安全・防犯対策・防災知識啓発のための市民大会の開催」
- 提言3 「通学路の安全対策」
- 提言4 「団体の組織強化」



森林山村再生調査特別委員会

平成25年6月12日、森林山村再生調査特別委員会から議長に報告書を提出しました。5つの付託事項について調査検討を重ね5つの提言をいたしました。

- 提言1 「地場産材の需要拡大」
- 提言2 「木質バイオマスの有効利用」
- 提言3 「間伐」
- 提言4 「野生鳥獣の被害対策」
- 提言5 「地籍調査の推進」



鹿沼市立図書館条例の一部改正について伺う



質問

条例を一部改正し図書館東分館を指定管理者に委託する意向と狙いを伺う。

答 弁
指定管理者制度で民間活力を導入します

図書館への指定管理者導入については、慎重に検討してきましたが、3館ある図書館を運営していく上で、それぞれが果たすべき役割をどのように位置づけるか、機能を強化し市民サービスを向上させるためにはどうしたらよいかを検討した結果、本館は市民の読書活動、学習活動を

推進していくための中心館としての役割を担い、今後も直営とし、粟野館は地域に根差した館として、今後も直営とし地域住民、学校等と交流を図りながら読書活動を推進していくこととしました。東分館は児童書の充実に重点をおき運営してきましたが、子育て世代を含め利用者が年々増加しています。

今後は、この特色を生かし地域子育て支援の役割を担うという方向性を明確にし、推進していくために民間活力の導入が有効であると判断し、指定管理者に管理運営を行わせることにしました。

鹿沼市立図書館東分館(愛称ほんのす)

休館日
月曜日、国民の祝日の翌日、資料整理日、蔵書点検期間、年末年始

開館時間
午前9時30分～午後7時
(土・日祝日は午後6時まで)
利用者カードは本館・分館と共通で利用可。



6月定例会の結果

定例会で人事や意見書の提出などが決まりました。

人事

本会議で人事が決まりました。(議案第55号・議案第56号)

人権擁護委員

宇賀神佳子 (うがじんよしこ・白桑田)

▶用語解説「人権擁護委員」

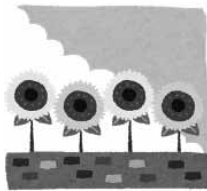
人権擁護委員法に基づいて、日本の各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

鹿沼市固定資産評価員

石川 道也 (いしかわみちや・上石川)

▶用語解説「固定資産評価員」

固定資産を適正に評価し市町村長が行う価格の決定を補助するための委員。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから議会の同意を得て市町村長が選任する。



請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

<h3>請 願 書</h3>	件名 ○○○○について 要旨 ○○○○の△△に関する ××を要望します。 理由 □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□。
紹介議員 今宮 三男	平成○○年○月○○日 鹿沼市議会議長様
氏 名 鹿沼 太郎	請願人代表 鹿沼市○○町○○番地○ 鹿沼 太郎 印

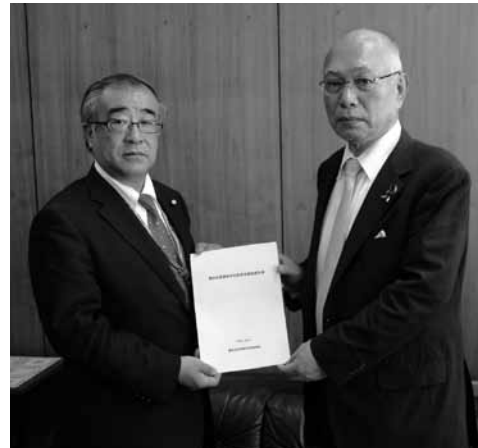
議会改革調査特別委員会

平成25年5月23日、議会改革調査特別委員会から、議長に報告書を提出しました。

平成24年3月の委員会設置以来14回にわたり委員会を開催し、鹿沼市議会基本条例に定める、より開かれた議会、活動する議会として目的達成の一助となるべく下記の付託事項の調査検討を重ねました。

- ①定例会のありかた ②予算要望のありかた
- ③政務調査費について ④議員定数について
- ⑤子ども議会について ⑥議員報酬について
- ⑦常任委員会のあり方について

また、調査事項のうち予算要望のありかたについては「予算要望実施方針」にまとめました。



議員案の結果

本会議で議員案1件を可決し関係機関に送付しました。

■議員案第6号 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書の提出について

少人数学級実現や教職員定数増を自治体だけの負担に転嫁するならば、財政力のちがいによる自治体間格差が生じることになります。教育の機会均等を保障するためには国が責任をもって少人数学級実現と教職員定数を増やすことが強く求められています。

地方に負担を押し付けるのではなく、国が責任をもって教育予算を増やし、全国の教育条件整備をすすめる必要があります。

国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう強く要請します。

- ①国の責任で、すべての小・中学校、高校で30人学級を実現すること
- ②国は、新たな教職員定数改善計画をつくり、計画的に教職員を増やすこと。

市長提出議案18件、議員提出議案1件が提出されました。
議員数25名、表決参加議員数24名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案57 鹿沼市一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の趣旨を踏まえ、一般職の職員の人件費を削減するものです。



賛成

【政和会】小林充・谷中恵子・関口正一・橋本正男
【自由民主党】筧則男・赤坂日出男
【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
【明峰】津久井健吉・増淵靖弘・横尾武男
【みんなの党】館野裕昭・小松英夫
【無所属市民の会】大島久幸・大貫武男・船生哲夫
【無所属】鰐原一男
【無所属】佐藤誠
【未来クラブ】小島実・湯澤英之

反対

【市民ネットワーク】大貫毅・塩入佳子・小川清正
【日本共産党】芳田利雄

全議員が賛成した議案



専決処分事項(補正予算)

- 議案40 平成24年度鹿沼市一般会計
4,731万4,000円の増、予算総額403億4,217万8,000円
- 議案41 国民健康保険特別会計
- 議案42 公共下水道事業費特別会計
- 議案43 農業集落排水事業費特別会計
- 議案44 介護保険特別会計
各特別会計の歳入歳出全般に検討を加え調整したもの
- 議案48 平成25年度鹿沼市一般会計
6,840万5,000円の増、予算総額394億2,840万5,000円

専決処分事項(条例)

- 議案45 鹿沼市税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い独立行政法人森林総合研究所が行う事業に係る固定資産税等の納税義務者の特例を廃止するものです。なお、鹿沼市では独立行政法人森林総合研究所が行う事業はなく、適用事例はありません。
- 議案46 鹿沼市都市計画税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。
- 議案47 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、特定継続世帯に対する国民健康保険税の軽減措置を講ずるためのものです。

町・字、市道

- 議案49 字の廃止並びに町及び字の区域の変更
宇都宮都市計画事業貝島西土地区画整理事業施行の結果、事業実施後の土地等の現況に符合しない町及び字の区域が生じたため、事業区域内の字を廃止するとともに、町及び字の区域を変更するものである。
- 議案50 市道路線の認定
貝島町地内における都市計画道路3・4・205号東武駅前通り道路整備事業に伴い、築造された道路を市道として認定するためのものです。

条例制定

- 議案53 鹿沼市土採取事業規制条例の制定
(15ページをご覧ください。)

条例の一部改正

- 議案51 鹿沼市立図書館条例の一部改正
(15ページをご覧ください。)
- 議案52 鹿沼市身体障害者補装具費等自己負担金助成に関する条例の一部改正
障害者自立支援法の一部改正により、同法の障害者の範囲に政令で定める130の特殊疾病が加わったことに伴い補装具費等の自己負担金の助成対象者の範囲を拡大するためのものである。
- 議案54 鹿沼市予防接種健康被害調査委員会条例の一部改正
予防接種法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

人事

- 議案55 人権擁護委員候補者の推薦
(13ページをご覧ください。)
- 議案56 鹿沼市固定資産評価員の選任
(13ページをご覧ください。)

議員提出議案

- 議員案6 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書の提出
(13ページをご覧ください。)

～自然と共に歩む人情味あふれる絆のまち～

鹿沼市の予算を補正します

■議案第48号 専決処分事項の承認について (平成25年度鹿沼市一般会計補正予算(第1号))

歳入については、県支出金の増額を計上し、歳出については緊急雇用創出事業費の増額を計上したものです。

これにより6,840万5,000円の増額補正を行い、予算総額を394億2,840万5,000円としました。



～民間活力を導入します～

図書館東分館を指定管理者制度により運営します

■議案第51号 鹿沼市立図書館条例の一部改正について

平成26年度から鹿沼市立図書館東分館に指定管理者制度を導入するための条例の一部改正です。

▶用語解説「指定管理者制度」

指定管理者制度は、多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減をはかることを目的に創設されたものです。指定管理者を指定しようとするときは、議会の議決を経ることが地方自治法で定められています。



～次世代につなぐ環境の保全～

適正な土採取事業を実施します

■議案第53号 鹿沼市土採取事業規制条例の制定について

鹿沼土等の土採取事業を許可制度とする条例です。

目的は、土採取事業による災害及び事故の発生の防止、生活環境の保全、あわせて土採取事業の健全な発展に資することとしています。許可が必要な土採取事業は、区域の面積が500平方メートル以上のものです。

市と事業者、土地所有者が協力して適正な土採取事業を実施します。

7月1日から12月31日までは届け出、平成26年1月1日以降は許可が必要になります。



～7月から来年3月まで～

市職員の給与の減額を実施します

■議案第57号 鹿沼市一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の趣旨を踏まえ、一般職の職員の人件費を削減する条例です。本年度の地方交付税減額が想定されるなか、市民生活への影響を考慮し7月から来年3月まで実施します。



議会からの **お知らせ****平成26年度予算編成に関する要望書を提出しました**

各党派で作成した予算要望を予算委員会でまとめ、議会からの予算要望として、6月20日に議長から市長に提出しました。

議会では市民のより良い生活を支える政策実施の基となる予算に関して議会に届けられた市民の声の市政反映を求めることを主眼として予算委員会を設置しました。今回の要望は昨年度実施した予算要望の問題点を議会改革調査特別委員会で洗い出し、改善策を検討した結果を予

算要望実施方針としてまとめ、取り組んだものです。

平成26年度予算の編成にあたっては実施計画掲載事業に掲げられた主要事業を中心に、市民が希望に満ちた生活を実感できるよう事業の選択と効果的な予算編成を行うとともに、特に要望書で提出した19事業について必要十分な予算を優先的に確保するよう要望しました。

**市職員南相馬市派遣報告会を開催しました**

東日本大震災で被災した自治体には、全国から多くの自治体職員が派遣され復興業務を支えています。鹿沼市からは、平成24年度2人の職員を被災地に派遣し、現地の職員と復興に向け任務に当たりました。

議会では6月3日、報告会を開催し、南相馬市に派遣され防災集団移転業務に取り組んだ但木進一都市計画課長に現地の状況、今後の支援等について話をききました。

**議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～**

8月	9月					
月	火	水	木	金	土	日
8/19	20	21	22	23	24	25
				10:00 議会運営委員会		
26	27	28	29	30	31	9/1
				10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明		
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
	9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
16	17	18	19	20	21	22
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会			
23	24	25	26	27	28	29
		10:00 決算特別委員会	10:00 決算特別委員会			
30						
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決						

*なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。(電話63-2203)

全国市議会議長会から表彰

長年の市政発展に貢献した功績により表彰されました。



議員25年表彰
船生 哲夫議員

表紙の写真は

平成24年11月に開催した市議会議員写真展出品作品から芳田利雄議員の作品をご紹介します。

福島県大沼郡金山町ののどかな農村の風景です。